

# 出前講座『樁台ジオパークの話聞く会』を行ないました。

“自分たちの地域のジオについて考え、楽しもう”と6月17日に八森・樁台地区で「樁台ジオパークの話聞く会」が行われました。この催しは、ぬかもり会が主催、樁台婦人会、樁台自治会の共催で行われ、八峰白神ジオパーク推進協議会の工藤英美会長が講師を務めました。

樁台地区には、ハの字のイルミネーションで有名な糠森（ぬかもり）のほか、笹森（ささもり）、半鐘山（はんしょうやま）、小糠森（こぬかもり）という小高い森が点在しています。神社があったり、かつては半鐘台があったりとそれぞれが歴史をもち、地域の人々に馴染みのある場所となっています。これらの森にまつわるジオの話を知りたいということで参加者を募ったところ、子供からご年配の方まで約40名もの方々に集まいただきました。

はじめに自治会館で工藤会長から地域にまつわる地質の紹介がありました。そのなかには「糠森の標高がだんだん高くなっている!?」など、参加者がびっくりするようなエピソードがありました。

その後、笹森・半鐘山・小糠森の周辺を観察しました。地質の説明以外に、それぞれの場所につわる歴史などバラエティに富んだ内容の会話が参加者の間で交わされていました。観察の締めくくりに、この3つの森の位置関係を調べてみよう、それぞれの頂上からバルーンをあげてみました。なんとバルーンはほぼ一直線上に並んでいることがわかりました。工藤会長は「これらの森は、長い距離にわたって1枚板のようにして上ってきたマグマがもととなってできたため一列に並んでいるのではないかと説明していました。参加者の方々は、森ができる過程を想像するなどジオに興味を馳せていたようです。

八峰町は地域によってバラエティに富んだ地形・地質があり、そのことが地域の暮らしと密接にかかわっていることもあります。当協議会ではジオパークを身近に感じていただくため「出前講座」を行なっています。講座開催を希望される団体をございましたら協議会事務局までお気軽にご連絡ください。



## ジオサイト・クリーンアップ

# 大作戦

～スッキリさせようジオパーク～

## 参加者募集!

ジオパークの見どころであるジオサイトを、一緒にクリーンアップしませんか? 当日は、ジオパーク推進協議会の工藤英美会長から、ジオパークのお話も聞くことができます。

クリーンアップでジオサイトもスッキリ! 心もスッキリ! お話を聞いてジオパークについての疑問もスッキリ! なイベントです。

### ◆こんな方にオススメ!◆

- ・「ジオパーク」ってよく聞けど、どんなものかわからない。
- ・環境活動をして、エコ・アクション・ポイントのスタンプを貯めたい。

- 日 時 7月22日(日) 7:00~8:30 (6:50までにあきた白神体験センター前に集合)
- 場 所 御所の台 (清掃場所は岩場の海岸です)
- 申込締切 7月18日(木)まで
- 参加申込 まちおこしNPOオモシエナ (担当:板谷) 電話 080-5573-6064

※参加される場合はイベント保険をかけるので、必ず事前にお申込み下さい。  
参加すると、八峰町エコ・アクション・ポイントのスタンプが1個もらえます!  
主催:まちおこしNPOオモシエナ 共催:八峰白神ジオパーク推進協議会



# 八峰白神ジオパーク構想



東八森駅付近 遠景の山は八沢峰 所有者:堀内常雄氏

## 八峰町発展にかかわった八森油田

子どものころ大人から聞かされた話ですが、昭和10年ごろ江口輯治という人がいて、磯村付近で石油の井戸を掘ったが失敗し、自宅に一人残り緑側で昼寝をしていました。夢の中で、なんと自宅の庭に石油が噴出したのを見たのだそうです。江口氏ははつと目を覚まし、発奮して再度試掘を始めました。そして目名湯海岸で見事に八森油田第1号油井を掘り当てたというのです。

その後、油井はどんどん増え、昭和40年まで掘り出した石油の総量は125、166klで、ドラム缶で約69万本分もあったということです。石油と一緒にガスや地下水も出たので、ぜんぶ合わせる大変な量の液体や気体が地中から出たことになりました。

これらの物質は一体地下のどこに隠れていたのでしょうか? 八森油田で65号井と呼ばれた井戸が現在の秋田アルス工場北側に掘られました。その井戸は2、000mまで掘り進められ、地表からそこまでの地層の一部を掘り出して詳しく調べられました。驚いたことに泥岩などの地層に挟まれるような形で、350mの厚さで素波里安山岩の岩体があったのです。石油は主にこの岩体からくみ上げられていたことが判りました。

素波里安山岩はもとも、藤里町の素波里付近で研究された安山岩で、その地名をとって名付けられた名前です。研究が進むにつれて八森地区にも分布していることが明らかになりました。油田風景を撮った写真を見ると後方にそびえる山々はほとんどこの岩体からできていますし、近くでは薬師山や母谷山、海岸部では泊海岸や樁海岸、雄島なども素波里安山岩からできています。



素波里安山岩の溶岩

この安山岩は海底に噴出した火山によってできたことが分かっています。岩石をよくみると溶岩や火山灰、溶岩の破片が火山灰の中に入り混じった角礫凝灰岩(角ばった石と火山灰からできている岩)などが海底に積み重なって出来たものと考えられています。溶岩の破片をよく観察するとたくさん穴(溶岩の写真)があることがわかります。この中に石油が溜まったものではないでしょうか。

素波里安山岩があるのに石油が出来ない地域では、この穴に地下水が溜まっているらしいのです。八森中学校東側に流れている沢水や、お酒「白瀑」に使われている水は素波里安山岩に蓄えられた地下水が地表に湧き出てきたものなのです。このように素波里安山岩は地域の発展に深くかかわっていて、私たちはその恩恵をたくさんいただいていたことになりました。

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427